

ページ作りのコツはソフト選びにあり!

Photo: Nakamura Tohru

# ホームページ作成ソフト 購入ガイド

ホームページ作成ソフトがあれば、いまや誰もがホームページを作れる。しかし魅力的なホームページのポイントは、情報が整理されていること、デザイン性が豊かであること、最新技術に対応していることなどだ。そのようなホームページを作る最初のステップがソフトの吟味と選択である。ここで、あなたにベストマッチのソフトを見つけよう。

西田創 + 小山貴弘

回線のブロードバンド化にともない、インターネットで配信できる情報やコンテンツの幅も大きく広がった。また、情報発信者、受信者の双方のニーズに合わせて、インターネットの技術の進歩もめざましい。ページの内容もさることながら、ページデザインそのものや新しい技術の導入などによって、ページ作成に関する労力は大きくなっている。そのためにも、ウェブサイト作成の目的や表現方法に合った、効率的にページを作成できるソフトを選ぶようにしたい。

こうしたなかで、新バージョンのソフトウェアのリリースが活発だ。プロユースでは、絶大な人気を誇るDreamweaver 4の発売により、GoLive 5.0とのシェア争いが本格化している。また個人ユースでは各社が独自機能を盛り込んだソフトでしのぎを削っている。ここでは機能や価格帯の面で特徴的な10種類の最新ホームページ作成ソフトを取り上げる。



付録CD-ROMに体験版を収録



# 進化し続けるホームページ作成ソフト

年間1700万ページもの勢いで増え続けるウェブページ。新しいコンテンツや新技術を取り入れたページも数多い。技術の進歩と相まって進化してきた、現在のホームページ作成ソフトの特徴を見てみよう。

## 急増するホームページ

ホームページの増加が続いている。郵政研究所による最新の統計(Jumpでは、国内で5570万ものページがあるといふ(2000年9月時点)。また、この2年間のページ数の増加はきわだっており、1年間で約1700万ページも増えている。ホームページは今後ますます一般化し、さらに増加の一途をたどるだろう。

同時に各ページで使われる技術も進化し続け、その内容も日々高度なものになっている。効率のよいデザインを実現するCSS、動きのあるページや高度な制御を可能にするDHTMLやFlash、Shockwave、Javaなどが急速に普及している。

このような最新技術を取り入れながら、ページを作成し発行していくためには、作業効率のよい優れたホームページ作成ソフトの導入が不可欠だ。

Jump [www.iptp.go.jp](http://www.iptp.go.jp)

## 進化の1つの形、それはWYSIWYG

WYSIWYGとは、"What You See Is What You Get"の頭文字で、ページをデザインする際に、HTMLタグなどを気にせず、見たままに制作ができるということの意味する。

数年前までのホームページ作成ソフトのWYSIWYGは、実に不完全なものだった。思い通りのデザインを実現できない、ブラウザによって見え方が異なるなど、実用レベルに達していると言えるものは少なかった。そのため、企業ページなどのシビアな条件ではデザインのやり直しや、JavaScriptを組み込むためにテキストエディターでHTMLタグを平打ちするなどしなければならなかった。

しかし、現在のホームページ作成ソフトは、非常によく仕上がっているものが多い。WYSIWYGによるページ作成の品質が向上したのは言うまでもなく、ブラウザの各バージョンに対応し、さらにスクリプトサン

ルの搭載によってJavaScriptを手軽に配置できるものもある。そのためページ作成の作業はとても効率的になってきている。

## プロはどのソフトを使っているのか?

ホームページ作成ソフトを大きく二分すると、プロ向けと個人向けに分けられる。

プロ向け、つまり企業などのページを作成する際に重要なのは、多くのブラウザで同様のデザインを再現できること、最新技術にも対応していること、そしてサイト全体の管理ができることなどだ。これらの条件を満たすものとしては、DreamweaverとGoLiveがあり、プロのウェブデザイナーは好んで使っている。この2つのソフトの最新バージョンは、昨年末に登場したアドビシステムズのGoLive 5.0、そして今年の2月末に発売となったマクロメディアのDreamweaver 4である。

ワープロ的な操作感覚のDreamweaverに比べてDTPソフト的な操作とインターフェイスを持つGoLiveは、オブジェクトを自由にレイアウトでき、また素材作りに欠かさないPhotoshopとの連携がよいのが特徴だ。シェアは今のところDreamweaverがリードしている状況だが、GoLiveへの乗り換えを考えるデザイナーも多い。とはいえ、Dreamweaver 4もHTMLソースの編集環境を向上させ、ページ作成の効率や品質を高めている。このようにプロ向けソフトは、基本的な機能を押さえつつ、より高度な操作性や作られるウェブページのデザイン品質を追求している。

## 機能がオールインワンの個人向けソフト

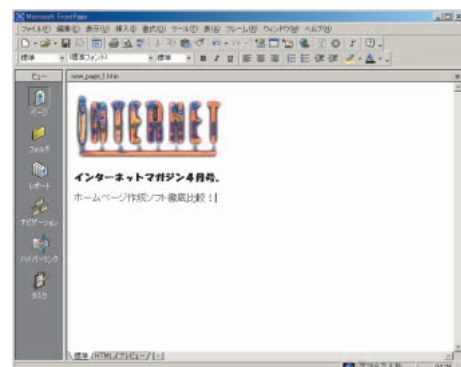
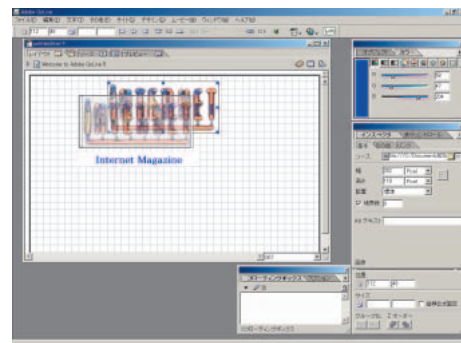
プロユースのホームページ作成ソフトに対し、個人ユースのソフトは、価格と手軽さが選択のポイントだ。どのソフトとも、HTMLがわからなくてもテンプレートやウィザードによって、簡単にホームページを作

れる仕様になっている。アイコンや背景などの素材が充実し、DHTMLもマウスのみで簡単に導入できるものも多い。

また、高度なグラフィック作成、編集機能を持つものもあり、1つのソフトだけでウェブ作成に必要な機能をすべて搭載している統合型が多いのも特徴だ。

さらに携帯電話用のウェブページ作成機能や、個人向けという範疇には収まらないがeコマースに役立つデータベースとのリンク機能など、ほかにはない機能を追求したソフトもある。

個人向けソフトは、初心者にも使いやすい操作性に加え、それぞれ特徴的な付加機能を有しているため、自分なりの使い方を見極めるのがポイントとなる。



DTP的なインターフェイスの例(GoLive 5.0 / 上)とワープロ的なインターフェイスの例(FrontPage2000 / 下)。デザインを指向するか、文書のHTML化に重点を置くかでホームページ作成ソフトの使い勝手は変わってくる。



# ホームページ作成ソフト選びのポイント

ホームページ作成ソフトは、今回取り上げただけでも10種類。1つの製品ジャンルで種類がこれほど多いものもないだろう。ベストチョイスを見つけるには、制作者のスキルを把握し、きちんとしたサイト作りの目的を持つことが重要だ。

## サイト作りの目的は何か

ウェブサイトを作成するときにもっとも重要なのは、どのようなサイトを作りたいのかをまずはっきりさせておくことだ。また、作り手のHTMLタグに関する知識やページ制作のスキルもきちんと把握しておきたい。

そこでまず、サイト全体のページ数や、最新技術を使った表現を利用するのかどうかを考えよう。また、既存のテンプレートやサンプルアイコンを使って手軽にホームページを作りたいのか、それともオリジナルデザインを重視したページを作りたいのかもポイントだ。これらを決定すればおのずと利用す

るホームページ作成ソフトも決まってくる。以上のことを念頭に置きながらソフト選択のポイントをいくつか見ていこう。

## 最新技術と高機能を併せ持つ プロ向けソフト

業務用のホームページを制作する場合、クライアントからの依頼に対して柔軟かつ素早く対応できるよう、ページ作成やサイト管理において高機能のソフトが必要だ。また、ページを自由にデザインできること、そして最新技術に素早く対応できるソフトであることが望ましい。

プロ向けソフトとしてここでは、「Dreamweaver 4」と「GoLive 5.0」を取り上げた。「Dreamweaver 4」は、前バージョンから、HTMLソースを見ながらWYSIWYGでページ作成できる機能、ヒストリー機能、サイトテンプレート機能などを充実させている。最新バージョンの4になってページとHTMLソースの同時表示機能や、JavaScriptのデバッグ環境など、正確かつ効率的にHTMLを記述するための機能を強化した。一方で「GoLive 5.0」は、より感覚的にデザインしやすいようにDTP的な使いやすさを盛り込み、またPhotoshopやIllustratorとの連携も

Product Showcase

取り上げた10製品のカテゴリズマップ。縦軸にデザインの自由度、横軸に個人 - プロ向けの用途をスケール化した。







スムーズにさせたため、複合開発システムとしての完成度を高めている。

プロ向けソフトは、正確で効率的なHTML編集ができるDreamweaverか、自由度の高いデザインができPhotoshopとの連携がスムーズなGoLiveか、ということになるだろう。

### ページ作りを1本でカバーする 個人向けソフト

それに対して個人ユースの場合、手軽にページを作成できることが選択の基本だ。そのため画像の編集も含め、さまざまな機能を備えたオールインワンタイプのものが続々と登場した。また、個人向けソフトには、ボタンなどの素材やテンプレートを数多く用意しているものも多く、HTMLタグなどを意識せずに見栄えのいいページを作ることできる。

ここでは、価格や高度なページ作成機能を有するかという点を評価して「個人向け」としているが、機能面で見るとその幅は広い。たとえば「FrontPage 2000」や「ホームページ・ビルダー 6」は、サーバー管理機能も充実しているため、企業の大規模サイトにも対応できる。また、「Namo Web エディター」は、低価格ながら強力なグラフィックツールを備え、データベースやグラフの作成に強く、企業向けとしても十分に活用できる。

できるだけ簡単にページを作成したいなら「ホームページ作成王」や「ウェブ楽」が便利だ。マウス操作を中心にホームページを作成できるので、初心者でも扱いやすい。また小・中規模のeコマースサイトを作成するには、レンタルサーバーの設定までセットになっている「通販開業」は魅力的だろう。

価格的に個人向けのページ作成ソフトであっても、特定の機能を見れば業務用として使えるものもある。個人向けソフトは価格に加え、テンプレートなどを使う手軽さやページ作成の付加機能の種類やその有無で選ぶことになるだろう。

### 画像の取り扱い

作成されるページの見栄えやページの作りやすさは、画像処理ソフトにも強く要求される。この点で個人向けソフトがメリット

としているのが、ソフト単体で簡単な画像を作成できることだ。ボタンやバナーに文字を載せたり、影を付けたりといったデザイン処理機能を備えているものが多い。ソフトを別途買い足す必要がないのでコストパフォーマンスも高い。

一方プロ向けのソフトでは、画像を作成するのに、別に画像処理ソフトが必要となる。そのため、他のソフトとの連携機能も選択のポイントとなる。たとえば「GoLive 5.0」では同社のPhotoshopやIllustratorとの連携がスムーズだし、「Dreamweaver 4」では「Fireworks 4」とシームレスな連携が可能だ。ページ作りにおいて画像制作は大きな要素を占めるため、画像の作成や編集の機能をどう評価するかは重要となってくる。

### エディター的かDTP的か

元来、ウェブページは、テキストエディターでHTMLタグを入力するのが基本だった。このため、現在のウェブ制作ソフトにもこのエディター的、あるいはワープロ的な操作のソフトが多い。一方、DTPなどのレイアウトソフトのような操作でWYSIWYGによるページデザインが可能なソフトもあり、ページ作成ソフトはエディター的かDTP的かで評価を分けて考えられる。

GoLiveなどのDTP的なソフトでは、テーブルやレイヤーを使って、画像などのオブジェクトを自由に配置できる。また、グリッドを使って整然としたレイアウトを作ったり、オブジェクトを1ピクセル単位で移動するなどの細かい操作も簡単だ。逆に文書をウェブページにする場合には、エディター的なソフトが使い勝手がよい。たとえばマイクロソフトのFrontPage 2000などは、同社のWordと似た操作感でページを作れる。

### DHTMLの扱い

動きのあるページを作るのに役立つのがDHTMLの作成機能だ。最近のホームページでは、オブジェクトの上にマウスポインターを持っていくと画像やフォントが変化する「ロールオーバー」というDHTMLの技術が多用されている。このDHTMLを作成する機能は高度で、まさにプロ向けとも言えるもの

だが、個人向けのソフトにも搭載したものである。そのなかでもホームページ・ビルダー6は、元の画像から変化した画像を自動的に作成する機能を備え、複雑なDHTMLも手軽に作れるのが特徴だ。

対してプロ向けのソフトでは、オブジェクト(あるいはレイヤー)を一定の時間で動かすためのタイムラインを備え、動作を詳細に設定できるなど、多彩な機能を搭載している。その表現能力は個人向けソフトと一線を画した形になっている。

### サイト管理機能

取り扱うファイルの数が多くなってくるときに便利なのが、サイト管理機能だ。サイト管理機能というのは、サイト内のページやオブジェクトのリンク状況を一覧で確認したり、リンクの有無や誤りを訂正したりする機能などのことだ。プロ向けソフトには、各ページをツリー状に一覧表示する機能などもある。これによってページのリンク切れをチェックしたり、ページのつながりを見やすしたりして管理を容易にできる。このようなサイト管理機能は、企業サイトなどミスの許されない完璧なページ作りを目指すうえでぜひとも欲しいものだ。

またサイト管理機能の1つとして、更新ファイルのみをサーバーにFTPしてくれる「差分アップロード」の機能もあれば便利なものだ。このほかにも、それぞれ独自のサイト管理機能があるので、購入のチェックポイントとしよう。

### その他の評価ポイント

最近ではiモードやJ-スカイウェブのような携帯電話用のウェブページ作成の需要も高まっている。ホームページ作成ソフトの中には、iモードなどのページ作成にも対応したものもある。iモードページにフルに対応しなくても、よく使われる特殊な絵文字などをWYSIWYG環境で作成できれば利用価値は高い。

また、昨今のeコマースの普及も視野に入れて業務用サイトを作成するならば、データベースと連動できるページを作れるかどうか、選択のポイントとなってくるだろう。



HTMLを常に意識できる、プロ御用達の決定版ソフト

Win / Mac

# Macromedia Dreamweaver 4

Dreamweaver 4は、HTMLをタグレベルで管理しながらDHTMLやJavaScript、CSSを利用した高度なウェブページを作成できる。ウェブサイト構築のための定番ソフトだ。

特徴は、WYSIWYG ウィンドウとHTMLソース表示ウィンドウを同時に並べて編集できること。片方のウィンドウで内容に手を加えると、もう片方でも編集内容が書き換えられるので、WYSIWYGで大筋をデザインしてHTML編集ウィンドウで細かい調整を行うといったことが案にできる。書き込んだタグの属性を無用に変換しないので、ほかのソフトで作ったページのタグも変わらず、デザインを歪めたりすることがない。Shock waveやFlashなどの管理もパッチリで連携度も高い。

Dreamweaverは、以前からDHTMLをサポートしており、タイムラインを使った細かい動きの設定ができ、使いやすい。DHTMLを使う場合、あらかじめターゲットになる

ブラウザを設定しておく、対応する機能だけを使える。もちろん、複数のブラウザに対応するDHTMLの記述もできる。

画像に関しては、同社のFireworksと連携するように設計されており、シームレスに2つのソフトを行き来できる。Fireworksの最新バージョンは、ビットマップ及びベクトル画像を扱うことができ、画像の一部分だけの圧縮率を下げられるJPEG マスクなどの新機能を搭載している。

ただし、多くのデザイナーが利用しているPhotoshop 6.0形式の画像ファイルがFireworks 4ではきちんと読み込めないという欠点がある。レイヤーを持った状態での画像の受け渡しができないのだ。これは今のところ対応を待つしかない。

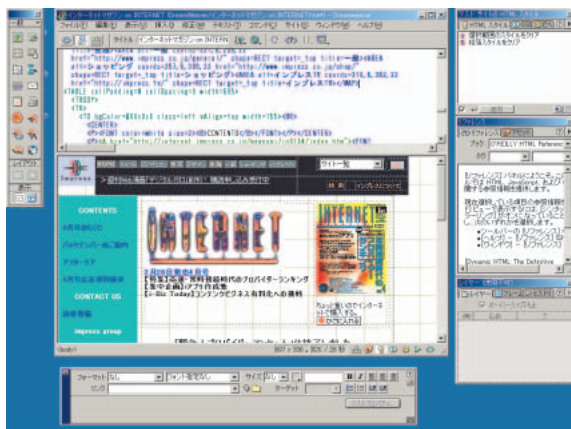
Dreamweaver 4単体は、ホームページ制作ソフトだが、FireworksとセットになったStudioパッケージが用意されており、別々に購入するよりもお買い得になっている。



価格	2万円 (Dreamweaver4 / Fireworks 4 Studio 日本語版は2万2,000円)
OS	ウィンドウズ98/Me/2000/NT4.0 マックOS 8.6/9.0
メモリー	32Mバイト以上
問い合わせ先	マクロメディア(株) X 03-5563-1980
	<a href="http://www.macromedia.com/jp/">www.macromedia.com/jp/</a>
CD-ROM収録先	<input checked="" type="checkbox"/> Trial Win Dweaver【Win】 <input type="checkbox"/> Trial Mac Dreamweaver【Mac】

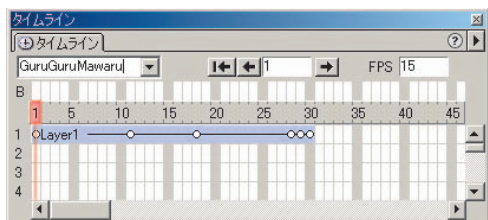
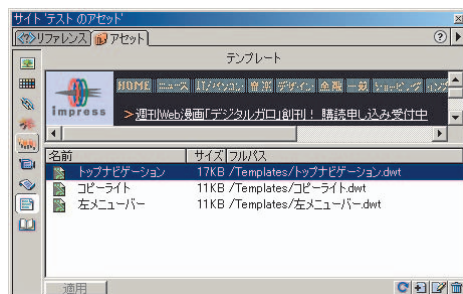


Product Showcase



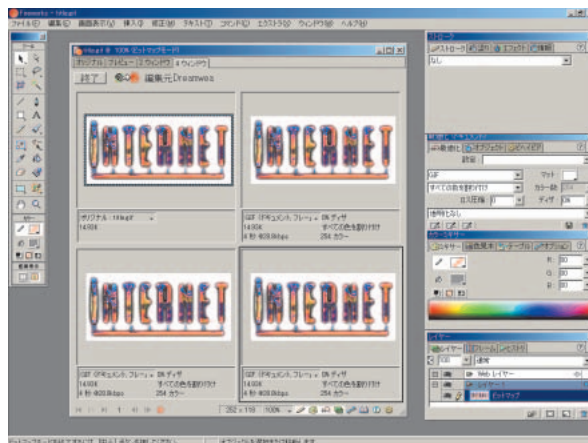
左上のオブジェクトパレットはブルダウメニューで切り替えて使用する。一番下がプロパティインスペクタ。右側にはビヘイビア、レイヤー、ヒストリなどのインスペクタが並ぶ。

サイト全体を一括で変更するのに便利なテンプレート機能は前バージョンから継承した。



タイムラインインスペクタ。設定した時間の流れにそってレイヤーの位置や重なり順を変更して手軽なアニメーションを作成できる。

Studio版に同梱されるFireworks 4。画像データはスムーズに引き渡される。







ビジュアル指向の感覚的なページレイアウトソフト

Win / Mac

# Adobe GoLive 5.0

GoLive 5.0は、HTMLに習熟していなくてもDTP感覚で画像などを配置することですぐれたデザインのウェブページを作成できる。同じプロ仕様であるDreamweaverがソースレベルでHTMLを編集する人々を念頭に置いているのに対し、GoLiveはDTP用のデザインをベースに進化してきた歴史を有する。

デザイナーは同じアドビのPhotoshopなどのインターフェイスに慣れている人も多く、アドビ製品で統一されたユーザーインターフェイスが親しみやすさを感じさせる。

ページ作成の流れは「オブジェクトパレット」にあるアイコンを、レイアウト画面にドラッグアンドドロップすることで進める。オブジェクトをクリックすれば「インスペクタ」と呼ばれるウィンドウでそのプロパティが表示され変更できる仕組みだ。

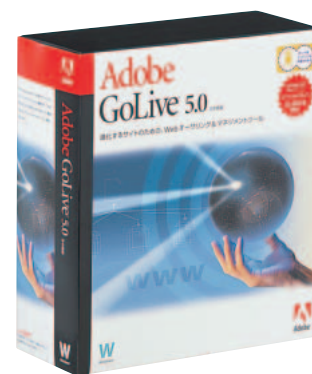
GoLiveの最大の特徴は、レイアウトグリッドを使用した洗練された操作感だ。レイアウトグリッドは「ボーダー0」のテーブルを組

み合わせることで、自由なオブジェクトの配置を実現している。これにより、DTPのページレイアウトソフトと同様に、自在にウェブページを作成できる。

5.0ではまた、デザイン面以外の機能も強化されている。ほかのアプリケーションで記述したHTMLやJavaScriptなどを一切上書きも変更もしないという「360Code」機能を備え、複数の開発者の間でのやりとりを威力を発揮する。また、Microsoft ASP対応のデータベースも使用できるので、eコマースサイトの作成にも最適だ。

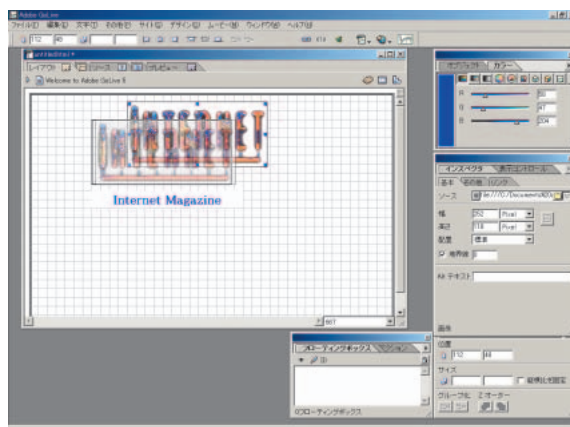
画像に関してはPhotoshopとの連携が非常にスムーズ。また意外に便利な機能なのが、トレース機能である。Photoshopなどで作成した下絵を半透明にして表示し、その上にHTMLをデザインできる。

アドビの他のグラフィックソフトときめ細かな連携ができるため、デザイン優先のページ作りに向けたソフトと言えるだろう。



価格	3万9,800円
OS	ウィンドウズ98/2000/NT4.0 マックOS 8.6/9.0
メモリ	64Mバイト以上
問い合わせ先	アドビシステムズ(株)(03-5350-0407)
Web	www.adobe.co.jp

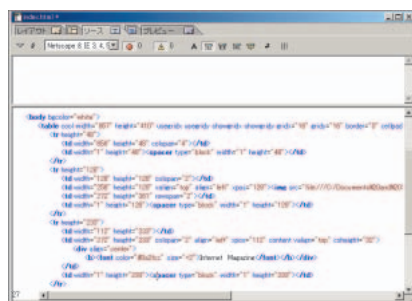
CD-ROM収録先:  Trial Win Golive [Win]  
 Trial Mac AdobeGoLive [Mac]



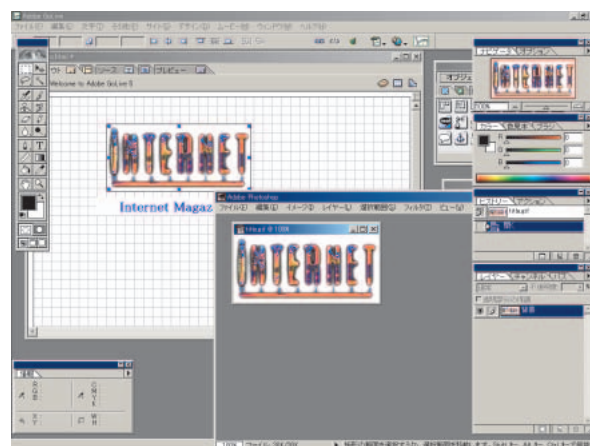
DTP感覚でレイアウト画面に画像をドラッグアンドドロップする。右側中央のパレットが、各オブジェクトのプロパティを表示するインスペクタだ。



カテゴリごとに分類されたオブジェクトパレット。必要なオブジェクトを、レイアウトヘッダにドラッグアンドドロップする。



GoLive 5.0でのグリッドレイアウトの出力はテーブル要素の複雑な組み合わせになっている。



Photoshopの「Web用に保存」との連携で、画像のやりとりはスムーズに行える。



Office ファミリーの資産を活用できる

Win

# Microsoft FrontPage 2000

マイクロソフトのOffice パッケージに含まれるウェブ作成ソフト。テンプレートの使用から高度なウェブサイトの構築まで多くの用途に利用できる守備範囲の広いソフトだ。

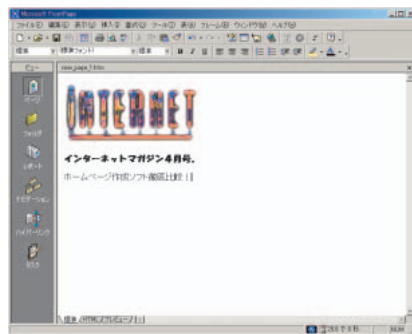
最大の特徴は、ほかのOffice ソフトとほぼ同様のインターフェイスを採用していること。文字の入力方法や書式、あるいは画像の挿入方法などほぼ同じで、ワープロと同じ感覚で作成していくことができる。もちろん、ほかのOffice ソフトとの連携機能も強力で、Word やExcel で出力したHTML ファイルを、直接FrontPage 2000 で編集し直すこともできる。さらに初心者向けには、60以上のデザインテンプレートや、フレームテンプレートが用意されており、それらを利用して簡単にウェブページを作れるソフトとなっている。

初心者向けの機能にとどまらず、一部のDHTML やCSS 2.0 にも対応したデザイン表現ができるほか、異なるブラウザでもレイアウトを同様に表現できるなど、最新技術を使ったウェブページも作れる。

またMicrosoft ASP に対応したウェブサーバーを用いることで、Access で作ったデータベースへのネットからのアクセス窓口を作成できる。eコマースサイトの構築には便利だ。サーバーが対応していれば「FrontPage Server Extensions」と呼ばれるスクリプト群を利用して、検索フォーム

やカウンター、掲示板などの定番CGI を容易に作れる。サイトの管理画面はウィンドウズのエクスプローラに似ていて扱いやすい。リンク切れのページ、ほかからリンクされていないページ、データサイズが大きく表示に時間がかかるページなどに対して、14種類のメッセージで警告する。ページ数が多くても正確に管理ができるというわけだ。

FrontPage 2000 の単体での販売は1万8,800円。「Office 2000 Premium パッケージ」(69,800円)にも収録されている。また、最近のパソコンには「Office 2000 Personal」がバンドルされていることも多いので、7,480円でこのOffice をアップグレードしてFrontPage 2000 を入手することも可能だ。



Office ファミリーのワープロソフトであるWord に極めてよく似たインターフェイスを採用している。



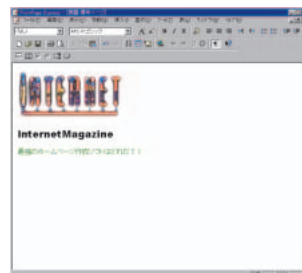
価格	1万8,800円
OS	ウィンドウズ98/98/Me/2000/NT4.0
メモリー	FrontPages用に8Mバイト必要
問い合わせ先	マイクロソフト(株) X 03-5454-2300
URL	www.microsoft.com/japan/



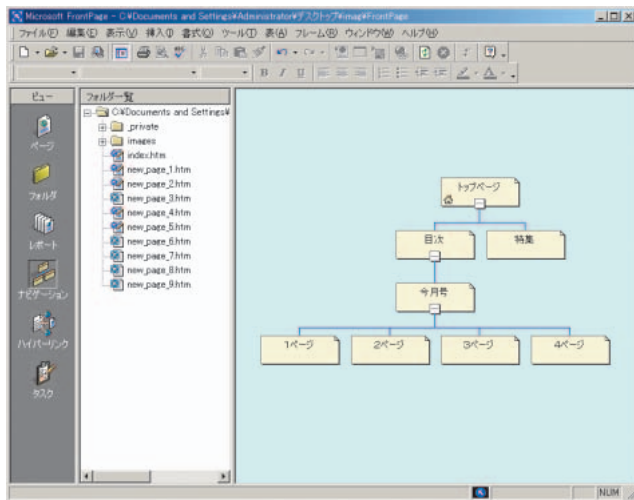
Product Showcase

## 無料ページ作成ソフト FrontPage Express

FrontPage Express はFrontPage 2000 の機能限定版で、無料で使えるウェブ制作ソフトだ。サイト管理機能などは持っていないが、ワープロ型のユーザーインターフェイスは、ページを簡単に作ってみたいというユーザーには便利に使えるだろう。インターネットエクスプローラ5.01に付属している。ただしWindows 2000では使用できない。



FrontPage Express は無料のホームページ制作ソフト。



サイトのリンクの関係を視覚的に処理することができるナビゲーション機能。



個人ユースで人気のオールインワン作成ソフト

Win

# IBM ホームページ・ビルダー Version 6

このソフト1本でホームページを作成できる統合型ソフトウェア。ページ制作のスタイルを選べたり、画像制作機能も充実しているなど、操作性がよく表現力が高い。初心者にわかりやすいが、上級者でも満足できる機能も搭載している。マニュアルも非常に丁寧だ。

ページの制作は、「ワープロ型の従来のスタイル」と「どこでも配置モード」の2つから選択できる。後者はDTPソフト的なインターフェイスによって、文章や画像を自由に配置できる。操作は簡単だが、内部的にはCSS2を利用しているため、インターネットエクスプローラ4以上、またはネットスケープコミュニケーター4以上でないと見られない。またブラウザのウィンドウサイズやフォントサイズによって、表示が乱れる場合があることにも注意したい。

5000点以上にも及ぶ豊富な素材やテンプレートが付属し、テンプレートからページの

フォーマットを作れる。またバンドルされている「ウェブアートデザイナー」を使えば、ウィザード形式で多様な画像を生成できる。さらに「ウェブアニメータ」ではアニメーションGIFも作成可能だ。

DHTMLを利用したロールオーバーの機能も便利で、アイコンなどの画像をもとに、影付けや彩度の変化、色の反転などを選択すると、変化した後の画像をほぼ自動的に生成する。

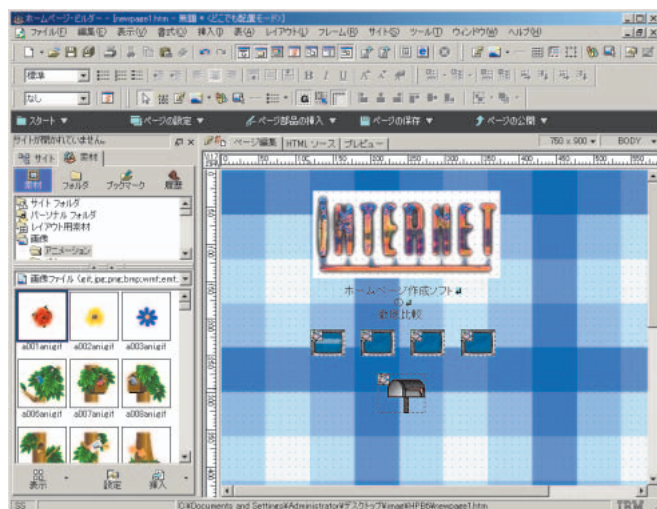
CSSについても「スタイルシートマネージャ」によって一括管理されており、将来的にCSSでデザインをコントロールしたいユーザーでも安心して使えるだろう。

このほかにも、ウェブページに配置する動画ファイルの取り込みと編集や、携帯電話用ウェブページの作成など、多彩な機能を搭載している。個人向けソフトながら、高機能でコストパフォーマンスにもすぐれているのが魅力だ。



価格	1万4,800円
OS	ウィンドウズ95/98/Me/2000/NT4.0
メモリー	32Mバイト以上
問い合わせ先	日本アイ・ピー・エム(株) 0120-04-1992
URL	www.ibm.com/jip/

CD-ROM収録先: [ ] Trial Win Hpb\_ver6 [Win]

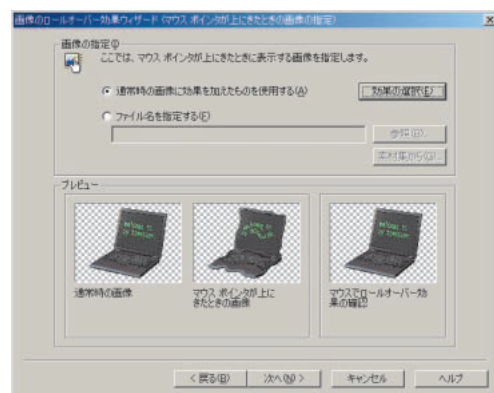


このバージョンから加わった「どこでも配置モード」による編集。ブラウザのバージョンが4以上でないと見られない。

非常に充実したテンプレート集。作成するモードとページ構成やテーマを選択するとセンスのよいページが簡単にできる。



「ロールオーバー効果ウィザード」では、特別な画像ソフトを用意しなくても、画像の切り替えなどの効果を加えられる。







高付加機能が魅力の低価格ソフト

Win

# Namo Web エディター-4

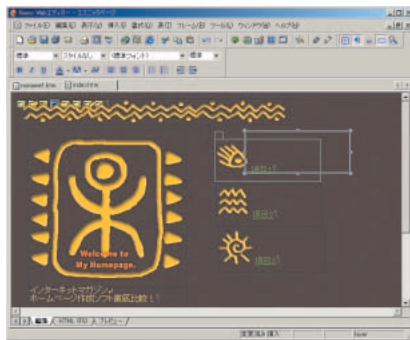
パッケージ版に加え、インターネットでシェアウェアとしても配布され、海外での評価も高い「Namo」。低価格でありながら、その機能はプロ向けソフトにも劣らない。

基本的なページ作成スタイルはワープロ型だが、CSSを使った自由な画像などの配置にも対応している。便利なのは200種類のテンプレートから手軽にウェブページを生成する機能。さらに16種類のスクリプトを搭載し、ウィザードで選択するだけでDHTMLを利用できる。

「数式エディタ」もユニークで、テンプレートから数式部品を組み合わせ、画像として出力できる。ほかにもMicrosoft Excel

ファイルの取り込みやグラフの作成も可能で、技術系や教育関連のウェブページを作るユーザーには最適のソフトと言える。

データベースとの連動やサイト管理機能のほか、影付けやグラデーションなどのエフェクトに対応したグラフィック加工機能も搭載している。



ビジネス文書などに非常に向いたソフトであるが、CSSによる自由なレイアウトも可能。作成できる作品の範囲が広い。



価格 9,800円(パッケージ版)  
6,500円(ダウンロード版)  
OS ウィンドウズ95/98/2000/NT4.0  
メモリ -  
問い合わせ先 江守商事(株) FAX:0776-36-8133  
www.namo.co.jp

CD-ROM収録先: [ ] Trial Win Namo【Win】



Product Showcase

デジタルアルバムを作成するような操作感

Win

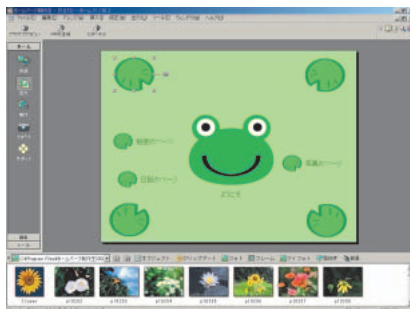
# ホームページ制作王2002

HTMLをまったく知らなくても、フリー台紙のアルバムを作る感覚で自由にレイアウトできるのが特徴だ。画像の配置はドラッグアンドドロップで行い、マウスでサイズの変更や回転などを指定する。ページ内に図形を直接書き込むことも可能だ。

作成したウェブページは最後にまとめてCSSを使って出力される。ブラウザのサイズによっては、左寄りになってしまうことがあるが、これを縦のフレームを入れることによって回避する。機能的にはDHTMLを使ったアニメーションにも対応しており、画像などのオブジェクトに対して、ページ内の軌道を編集して自由に動かすこともできる。

さらに、各種デジカメから画像を取り込む「ダウンロードフォトアシスタント」機能やFTP機能なども搭載している。

無料ホームページスペースのジオシティーズと連携しており、画像カタログがベースのページを手軽に作成したいユーザーに適したソフトと言えるだろう。



テンプレートにより作成したひな型。ソースを意識させずに、オブジェクトをページ内の好きなところに配置できる。



価格 6,800円(ガイドブック付きは8,800円)  
OS ウィンドウズ95/98/Me/2000/NT4.0  
メモリ 64Mバイト以上  
問い合わせ先 (株)ジャングル 03-3234-2102  
www.junglejapan.com

CD-ROM収録先: [ ] Trial Win Seisaku【Win】





グラフィックデザイナー向けのDTP型ソフト

Mac

# freeway 3.0-J

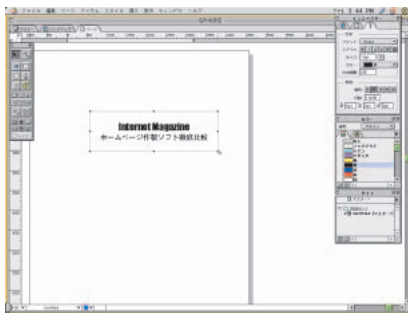
DTPソフトでレイアウトするようにページを作成できるマッキントッシュ用のホームページ作成ソフト。作成するにあたってHTMLを覚える必要がなく、自由に画像や文章を配置できる。作成したページはHTML形式で出力するが、その形式は、HTML3.2準拠のテーブル形式と、CSSによるレイアウトから選択する。テンプレート作成機能も備えており、同じデザインで複数のウェブページを作成するときに重宝する。

ページのデザイン性の高さが魅力のソフトで、そのための機能が充実している。たとえば、動きのあるページを作成できるDHTMLにも対応しているほか、多少細かい設定が必要だが、ロールオーバーなどの機能をマウス

DTP的な操作が中心なので、HTMLを意識することはほとんどない。またPhotoshop形式のファイルをそのまま貼り付けると、自動的にウェブ用の画像形式で出力し直す。

操作で設定できる「アクション」機能も便利だ。また、サイズの大きな画像を分割するスライス機能も搭載するなど、画像データの管理と加工機能も強力だ。

DTPソフトの操作の経験があるユーザーなら、手軽に使い始めるられるだろう。ただし、ほかのホームページ作成ソフトによるHTMLを開くとレイアウトがくずれることがあるので注意したい。



価格	2万9,800円
OS	マックOS 8.1以降
メモリー	15Mバイト以上の空きメモリーが必要 (仮想メモリーオフ時)
問い合わせ先	加藤電機(株) X 0569-26-0141
URL	www.freeway-j.com

CD-ROM収録先: [ ] Trial Mac FreeWay [Mac]



豊富な素材と分かりやすい操作

Win

# iホテル2001改訂版

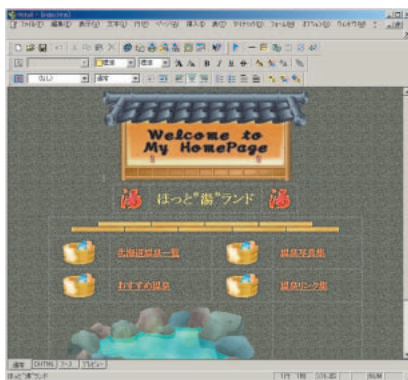
「iホテル2001改訂版」は、「ホテル2001改訂版」にiモード用のページが作成できる「iど〜も」機能を搭載したパッケージだ。メインとなるページ作成ソフトの「ホテル2001改訂版」は、ワープロ感覚で操作でき、初心者でも手軽にページを作成できる。テンプレート集「ホームページギャラリー」も用意され、4~5ページ分のサイトテンプレートや、CGI、iモード用など、80点のテンプレートを収録している。

グラフィック機能も十分で、3Dロゴを簡単に作成できる「ロゴファクトリー」や、アニメーションGIFを作成するための「アニメーションファクトリー」がある。約5000点の素材

ワープロ感覚でレイアウトができる。画像などはテーブルで並べてセンタリングしてある。

集もバンドルされているので、簡単なページならすぐに作成できるだろう。

基本的にはテンプレートを使って手軽にページを作成したいユーザー向きだが、DHTMLやCSS1.0にも対応しているので、高度なページ作りにも十分に対応する。



価格	1万4,800円(iモードに対応しない「ホテル2001改訂版」は1万1,800円)
OS	ウィンドウズ95/98/Me/2000/NT4.0
メモリー	32Mバイト以上
問い合わせ先	デービーソフト(株) X 011-807-6700
URL	www.db-soft.co.jp





初めてでも手軽にページの作成や更新が可能

Win

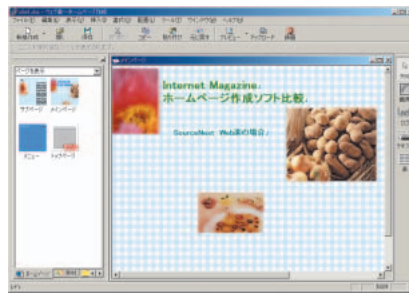
# ウェブ楽

テンプレートによって手軽にページ作成が始められる初心者向けソフト。自由に画像やテキストを配置でき、DTPソフトのような操作でウェブページを作成できる。ロールオーバー機能など一部のDHTMLにも対応している。面白い機能としては、「日記ライター」がある。起動するとポップアップで日記入力フォームが現れ、入力してアップロードボタンをクリックするだけで日記が更新できるというものだ。煩雑なFTP作業を意識する必要がない。

画像に関する機能も用意され、画像をアルバム状にHTMLに配置して出力したり、

文字を入力してデザインを選択するだけで簡単にタイトルロゴを作成したりすることができる。

標準で1200点のボタンなどの素材を含むほか、10万点以上の素材を有する有料サイト「具満タンweb」を3ヶ月間無料で利用できる。DHTML機能などを除いた4,900円のスタンダードパッケージ(限定3万本)もある。



ページのデザインは豊富なテンプレートから選択できる。オブジェクトは自由に移動可能だ。

インターネットショップを手軽に開業

Win

# 通販開業 PowerVersion 2.00

通常は、インターネットでショップサイトを開設するにはCGIの知識が必要であり、業者に依頼すればかなりの費用がかかる。この「通販開業」は、オリジナルCGIに対応したサーバーが利用できる環境ならば、ウィザードに従ってデザインや商品などの設定をするだけで、eコマースサイトを開設できる。ウェブで個人商店を開きたい場合に手軽に導入できるソフトだ。商品の受注情報はメールで送信される。

開設したサイトでは購入者向けに商品検索機能などが提供され、オーナーは受注動向のグラフ表示やアクセスログの取得、発注データのコンパイル機能などが使える。また、商品の入れ替えは管理者メニューから行えるので、ホームページであることを意識す

る必要がなく使いやすい。商品画像もブラウザを使ってアップロード可能だ。

複雑なレイアウト機能やDHTMLによる動きのあるページ作りや画像加工の機能などはないので、ページのデザインにこだわりたい場合などは、他のソフトと組み合わせて使うことになるだろう。



テンプレート内にあるショッピングサイトのデザイン例。



価格	8,800円(スタンダードバージョンは4,900円)
OS	ウィンドウズ95/98/Me/2000/NT4.0
メモリー	32Mバイト以上
問い合わせ先	ソースネクスト(株)(03-5350-4844)
	<a href="http://www.sourcenext.com">www.sourcenext.com</a>



価格	1万9,800円
OS	ウィンドウズ98/2000/NT4.0
メモリー	64Mバイト以上
問い合わせ先	(株)クエスチョンズ(0120-646132)
	<a href="http://www.questions.co.jp">www.questions.co.jp</a>







## ホームページ作成ソフト主要機能一覧表

ソフト名	Dreamweaver 4	GoLive 5.0	FrontPage 2000	ホームページビルダー-Version6	Namo Web エディター 4
					
開発元	マクロメディア(株)	アドビシステムズ(株)	マイクロソフト(株)	日本アイ・ビー・エム(株)	Namo Interactive社
販売元	マクロメディア(株)	アドビシステムズ(株)	マイクロソフト(株)	日本アイ・ビー・エム(株)	江守商事(株)
問い合わせ先	03-5563-1980	03-5350-0407	03-5454-2300	0120-04-1992	FAX:0776-36-8133
URL	www.macromedia.com/jp/software/dreamweaver/	www.adobe.co.jp/products/golive/main.html	www.microsoft.com/japan/Office/FrontPage/default.htm	www-6.ibm.com/jp/software/internet/hpb/	www.namo.co.jp
発売時期	2001年2月	2000年10月	1999年8月	2000年11月	1999年6月
標準価格	20,000円	39,800円	18,800円	12,600円	9,800円(乗り換え版5,900円)
対応OS	Windows98/Me/NT4.0/2000, MacOS8.6以上	Windows98/NT4.0/2000, MacOS8.6以上	Windows95/98/2000/NT4.0	Windows95/98/2000/NT4.0	Windows95/98/2000/NT4.0
HTMLソース編集					
フレーム作成					
クリックマップ作成					
プレビュー	外部ブラウザ起動(20個まで登録可)	内部+外部ブラウザ	内部	内部+外部ブラウザ	内部+外部ブラウザ
スタイルシート	CSS2	CSS2	CSS2	CSS2	CSS2
スペルチェック					
画像編集	-	-	ImageComposer	ウェブアートデザイナー	
アニメーションGIF作成	-	-	ImageComposer	ウェブアニメータ	Namo GIF アニメータ
ロールオーバー対応					
DHTMLアニメ	可(タイムラインあり)	可(タイムラインあり)	可(タイムラインあり)	可	可(タイムラインあり)
FTP機能					
サイト管理機能					
画像素材点数	0	0	1000	5000(テンプレートと合わせて)	8300
テンプレート数(テーマ数)	0	0	60	-	200
アンドゥ	無制限	複数回(30回までチェック)	複数回(30回までチェック)	複数回(30回までチェック)	200回
使用可能画像形式	GIF, JPEG, PNG	GIF, JPEG, PNG, PSD, BMP, PICT(Macのみ)PCX, Pixar, Amiga IFF, TIFF, TGA	GIF, JPEG, PNG, BMP, TIFF, PCD, WMF, EPS, PCX, TGA	GIF, JPEG, PNG, BMP, WMF, TIFF, PlashPix, PhotoCD, DCM, MIF	GIF, JPEG, PNG, BMP, WMF, TIFF, PlashPix, PhotoCD, DCM, MIF
画像フォーマット自動変換	x				
iモードサイト制作	x		x	iフォトビルダー	x
その他	JavaScriptコードデバッグ	QuickTime編集ツール, WebDAVサーバサポート, データベース連動(ASP)	データベース連動(ASP)	-	数式エディタ, データベース連動
付属ソフト	-	-	-	ウェブアートデザイナー, ウェブアニメータ, ウェブビデオスタジオ, iフォトビルダー	Namo GIF アニメータ

ソフト名	ホームページ制作王2002	freeway3.0J	iホテル2001改訂版	ウェブ案	通販開業 PowerVersion 2.00
					
開発元	(株)イクセラ・ジャパン	SoftPress Systems limited	デービーソフト(株)	ザクソールアンドディ(株)	(株)クエストions
販売元	(株)ジャンгл	加藤電機(株)	デービーソフト(株)	ソースネクスト(株)	(株)クエストions
問い合わせ先	03-3234-2102	0569-26-0141	011-807-6700	03-5350-4844	0120-646132
URL	www.junglejapan.com/webeasy/	www.freeway-j.com/twjj/twjj.html	www.db-soft.co.jp	www.sourcenext.com/products/webaku/	www.questions.co.jp/tk/
発売時期	2000年10月	2000年8月	2001年1月	2000年12月	2000年9月
標準価格	6,800円	29,800円	14,800円	8,800円	19,800円
対応OS	Windows95/98/Me/2000/NT4	Mac OS 8.1以降	Windows95/98/Me/2000/NT4	Windows95/98/Me/2000/NT4.0	Windows98/2000/NT4.0
HTMLソース編集	x	x		x	(定められた範囲のみ)
フレーム作成					
クリックマップ作成	x				
プレビュー	外部ブラウザ起動	内部+外部ブラウザ	外部ブラウザ起動	外部ブラウザ起動	x
スタイルシート	CSS2	CSS2	CSS1	CSS2	x
スペルチェック	x		x	x	x
画像編集	フォトアシスタント		ロゴファクトリー	ロゴ作成ツール	なし
アニメーションGIF作成		x	アニメーションファクトリー	アニメーション作成ツール	x
ロールオーバー対応					x
DHTMLアニメ	可	可	不可	不可	不可
FTP機能	ixlaFTPMax		ハイパーテキストマネージャ	FTPツール	
サイト管理機能	x		ハイパーテキストマネージャ	x	x
画像素材点数	4700	-	約5100	1500	0
テンプレート数(テーマ数)	122	-	60	120	40
アンドゥ	6回	1回	1回	1回	x
使用可能画像形式	GIF, JPEG, PNG, CAM, EPS, IXL, FPX, PSD, TIFF, BMP, DCX, PCX	GIF, JPEG, PNG, TIF, PICT, BMP, QDdX, AI, EPS, 他	GIF, JPEG, BMP	GIF, JPEG, PNG, BMP	GIF, JPEG, PNG
画像フォーマット自動変換					
iモードサイト制作	x	x	iドモ	x	x
その他	VRML出力	-	-	-	CGI作成
付属ソフト	フォトアシスタント, ixlaFTPMax		メロディファクトリー, ロゴファクトリー, アニメーションファクトリー, イメージパレット, ホームページギャラリー, ハイパーテキストマネージャ, iドモ	グラフィック素材管理ツール, ロゴ作成ツール, アニメーション作成ツール, FTPツール, 簡単日記ライタ	



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)